

平成 26 年第 6 回加西市教育委員会会議録

1. 開会日時 平成 26 年 6 月 25 日（水） 13 時 30 分
2. 閉会日時 同 日 16 時 15 分
3. 開催場所 加西市役所 1 階多目的ホール
4. 出席委員 委 員 長 渡 邊 隆 信
委 員 内 藤 堯 雄
委 員 荒 木 貴 子
委 員 市 場 かおり
教 育 長 松 本 直 行
5. 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名
教育次長 後 藤 倫 明
市参事兼こども未来課長 立 花 聡
教育総務課長 中 倉 建 男
学校教育課長 柿 本 博 司
文化スポーツ課長 深 江 克 尚
図書館長 上 坂 寿 人
総合教育センター所長 安 富 均
こども未来課主幹 伊 藤 勝
教育総務課総務係長 伊 藤 陽 子
6. 付議事項
議案第 26 号 加西市立図書館運営規則の一部を改正する規則の制定について
議案第 27 号 平成 25 年度加西市教育委員会点検評価について
議案第 28 号 加西市幼稚園等評議員の委嘱について
議案第 29 号 加西市心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について
7. 議題となった動議を提出した者の氏名
なし
8. 質問及び討議の内容
議案第 26 号 加西市立図書館運営規則の一部を改正する規則の制定について

図書館長より、運営規則の一部改正について内容説明を行う。個人貸出冊数の上限を引き上げる内容である。現在、図書は上限10冊で2週間、雑誌は上限5冊で1週間、視聴覚資料は2点で1週間であるものを、7月1日以降は、図書と雑誌の隔てを無くし上限20冊の2週間、視聴覚資料については4点の1週間に改正するものである。

教育委員より、今までの返却未納についてはどのように対応しているか、また市民からの要望があるのか、との質問がある。図書館長より、返却未納の人はデータ管理しており、回収してから次の貸し出しを行うようにしていると回答する。資料の回転率は2倍であり、これで回転率は落ちるが児童用冊子の増の要望があり、今後を増やすことを考えている。アンケート調査の結果、雑誌と児童書を増やし、貸出冊数も増やしてもらいたいとの意見があった。

教育委員より、人気のある本について回転を速くしてもらいたいとの要望は無いかとの質問があり、図書館長より、予約が多い本については複本を入れて対応している。児童書については冊数を増やし対応していきたいと回答する。

教育委員より、貸し出し期間について質問があり、図書館長より、15日は返却期限を覚えてくいため、借りた日と返す日の曜日を合わせるため、運用を2週間に定めたと回答する。

原案どおり承認される。

議案第27号 平成25年度加西市教育委員会点検評価について

教育総務課長より、教育委員会点検評価について、評価委員会における審議を行うため、教育委員会による評価を別紙の通りとすることについて、委員会の議決を求めるものである。

点検評価について、重点項目毎の教育委員会自己評価について内容説明を行う。

重点項目1、幼児教育プログラム方針に基づく継続した活動により、園運営ならびに幼児教育・保育の推進に地域や家族の理解や協力を得ることができた等の評価内容を説明した。達成度は、「概ね達成」である。

重点項目2、公民館主催講座参加者の増加、登録グループによる出前講座の本格実施、オークタウン加西の整備や環境学習事業の実施等、公民館を中心とした生涯学習の推進が順調に進んでいる等の評価内容を説明した。達成度は、「概ね達成」である。

重点項目3、加西中学校区と泉中学校区では、就学前施設整備基本計画地域協議会を立ち上げ、幼保施設統合計画の検討を始めることができた。また、北条中学校区では、公立北条南保育所と北条東幼稚園の統合による再編を公設公営で、善防中学校区では、私立幼保連携型認定こども園を誘致し、幼保施設の整備を確実に進めることができた等の評価内容を説明した。達成度は、「概ね達成」である。

原案どおり承認される。

議案第28号 加西市幼稚園等評議員の委嘱について

市参事兼こども未来課長より、委嘱の内容説明を行う。任期は、平成26年4月1日より平成27年3月31日の一年間である。各園長から推薦された各園約4名の評議員を、委嘱するものである。

教育委員より、5月の定例委員会で小中学校評議員を委嘱していたが、幼稚園等が一ヶ月あまり遅れたのはどうしてかとの質問があり、市参事兼こども未来課長より、初めての取り組みであり、人選に時間がかかったことが遅れた原因であると回答する。

原案どおり承認される。

議案第29号 加西市心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について

学校教育課長より、委嘱の内容説明を行う。任期は、平成26年7月1日から平成27年3月31日までである。1号委員として、加西特別支援学校医、加西病院精神科部長を、2号委員として、中学校長代表、北条、善防、加西、泉中学校区就学指導委員代表と加西特別支援学校長、教頭を、3号委員として、中央こども家庭センター育成支援課長を、4号委員として市参事兼こども未来課長と学校教育課長に委嘱ものである。

10月には、加西市心身障害児就学指導委員会を開催し、その後入学までの半年間相談にあたっていただく予定である。

教育委員より、小学校以前の子どもの状況について保護者等の意見を聴く場があるのか、また、委員として、中学校の校長先生が一人であることに問題はないのか、との質問がある。

学校教育課長より、就学前の状況把握は、こども未来課と総合教育センターの発達支援アドバイザーが中心になって定期訪問し状況把握している。また保護者とも相談している。園から小学校へ上がる段階、あるいは小学校から中学校へ上がる段階で、就学指導判断を行うが、小学校の状況を踏まえて中学校に送っているで、今のところ問題はないと回答する。

教育委員より、対象になる子どもは小学校へ入る段階の子どもと、中学校へ入る段階での子どもになるのか、との質問があり、学校教育課長より、小・中学校への入学時の子どもの判定とともに小学校・中学校の途中段階でも対象になり、継続、新規の入級について判定を行っている」と回答する。

原案どおり承認される。

9. 議決事項

議案第26号 加西市立図書館運営規則の一部を改正する規則の制定について

原案どおり可決

議案第27号 平成25年度加西市教育委員会点検評価について

原案どおり可決

議案第28号 加西市幼稚園等評議員の委嘱について

原案どおり可決

議案第29号 加西市心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について

原案どおり可決

10. 報告事項

(1) 教育長から

6月の定例議会について概要を報告する。

1つ目の議案は、「富田小学校南校舎地震改築工事請負契約の締結」、2つ目の議案は、「九会小学校南校舎耐震補強工事請負契約の締結」、3つ目の議案は、「善防中学校体育館耐震補強工事請負契約の締結」、4つ目の議案は、「北条東幼稚園整備工事請負契約の締結」であった。教育委員会関連の4議案は、すべて可決された。

一般質問では、「学童保育について」「子ども子育て支援法と学童保育について」「玉丘史跡公園、アクアス加西について」「文科省の公立小中学校の統廃合基準の指針の見直しについて」「加西市の石仏遺産について」「就学援助制度の改善について」「地教法の改正について」「戦争遺跡群の文化財指定について」旧鶉野飛行場のことである。「これからの加西の教育と少子化と5万人都市とについて」「教科書採択について」「スパーク加西の有効活用について」「市指定文化財の標柱と案内看板のリニューアルについて」「教育予算について」「北条中学校の自転車通学について」等の質問があった。それぞれの質問については、取り組みの概要と課題及び、今後の方向性等の説明を行った。

教育委員より、「文科省の公立小中学校の統廃合基準の指針の見直し」について質問があり、教育長より、全国の児童生徒数は、昭和56年頃をピークに平成20年頃にはその6割まで減少しているが、学校数は、それよりもはるかに少ない減少に留まっている。今回の文科省の見直しは、少子化が見込まれる中、国の厳しい財政状況と相まって統廃合の促進を図

るものであると思われる。今回の指針では、「通学距離」の基準を「通学時間」に変更され、今までは、小学校4km以内、中学校6km以内のところ、バス等の利用を前提に通学時間が1時間以内に緩和される見込みであると回答する。そして、現在のところ加西市においては、統廃合の計画は定まっていないが、検討していく必要があり、統廃合については、地域住民の理解と協力を得ることが重要であると述べる。

また、校舎の利活用については、現在進めている耐震補強工事において入り口付近にスロープを設置するとともに、地震改築工事においてエレベーターを設置するなどして、バリアフリー化に対応し、様々な人たちが利用しやすい建物となっている。その他、間仕切りを多く設け、多目的に利用できるようになっていると述べる。

耐震補強、地震改築、トイレ改修、空調設備等による教育環境の整備に呼応し、教育の更なるソフトの充実を図らなければならない。9年間を見通した系統的、連続的な学習指導、生徒指導を通じて、教育の重点にある小中連携を推進していきたい。また、学校づくり応援事業を通して、保護者や地域の方々との連携を軸とし、地域の特色を生かした教育活動をすすめていきたいと述べる。

教育委員より、教育予算についての質問があり、教育次長より、中学校で使用する大型楽器の購入については、格差是正の備品要望で各校から優先順位を付けてもらって購入するが、机・椅子の要望順位が高く購入には至っていないことがある。そのため、何年もかけて順位を上げて購入に至っている経緯がある。また、議員からも備品購入に係る予算確保拡充の要望があったと回答する。

教育委員より、地教行法の改正について質問があり、教育長より、大綱と加西教育プラン（加西市教育振興基本計画）は、法的にはほぼ同じものである。教育プランは5か年ごとの計画であり、大綱よりも中期的な計画である。また、教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保することが重要であると回答する。

(2) 市参事兼こども未来課長の報告

市参事兼こども未来課長より、加西地区（加西中学校区）就学前施設整備基本計画地域協議会審議（中間報告）について報告する。民間の幼保施設の連携も含めて進めている。平成24年4月に九会幼稚園が出発した。これを第一段階とし、今後、別府幼稚園と九会幼稚園の統合ができないかとの協議を進めた。

2月26日に第1回目の協議会を開催し、施設の現状と課題について報告を行い、現状を認識してもらった。5月29日の第2回目は、新園舎の整備、園児・保育士教諭数、施設整備費について協議し、別府幼稚園と九会幼稚園を統合する方向で意見集約ができた。第3回目は、7月31日に開催予定で、場所も含めて検討する。

設置場所については、2ヶ所を候補地としており、現在の九会幼稚園の敷地、もう一か所

は南部公民館の西側の敷地を考えている。今後メリット・デメリットを検討していく。

昨年の保護者には説明したが、保護者も変わっているので、7月2日に保護者へ改めて説明したいと考えていると説明する。

教育委員より、統合すればすべての場所が移転となるのかとの質問があり、市参事兼こども未来課長より、新設となるが、別府幼稚園は廃園を考えている。九会幼稚園の場所で建てる場合は、園児が休まないで済むように建設しないといけませんが、保幼小の連携がしやすいメリットがある。加西中学校の横の敷地は更地なので、開園しながら建設できるメリットがある。

教育委員より、九会幼稚園の敷地であれば、間の道について質問があり、市参事兼こども未来課長より、道が現在の敷地において大きな弱点であるため、道の変更と敷地の有効活用を検討していると回答する。

(3) 教育総務課長の報告

教育総務課長より、教育施設耐震化工事等の進捗状況について報告する。

6月24日の議会で、北条東幼稚園整備工事、富田小学校南校舎地震改築工事、九会小学校南校舎・善防中学校体育館耐震補強工事の4件が議決された。

富合小学校北校舎耐震補強工事については、内部解体工事中である。

平成26年度格差是正正常繕備品購入要望について、結果について報告を行う。

幼保施設については、○が付いたものが実施する項目で、☆は兵庫土建にボランティアで対応するものである。

小中学校で、◇の項目は別途工事に対応するものであると説明する。大型楽器については、順位が上位の物を購入する計画である。机・椅子については、現状調査を行いその結果を基に数量を調整している。

教育委員より、トイレと食に関することについて重点的に対応できないのかとの質問があり、教育総務課長より、緊急度を勘案し対応順位を考えていると回答する。

教育委員より、幼稚園・保育所の備品についてエアコンが一番で要望が出ているが、小中には入っているので、どのように考えているのかとの質問がある。こども未来課主幹より、今年度は各園とも一番の要望であるので、小学校に続き幼保施設についても完備できるように今後関係部署に要求していくと回答する。

(4) 学校教育課長の報告

学校教育課長より、児童生徒の学習・生活について報告する。中学校では、2年生が予定どおり6月2日から6日まで、トライやる・ウィークを実施した。期間中に市教委も教育長

をはじめ、指導主事が多くの事業所等を訪問し、事業所の担当者の方と意見交換をしたり、生徒の活動状況を確認した。各事業所では、充実したプログラムを提供していただき、生徒も良い学びや思い出ができた。活動中の大きなケガ等もなく、充実した活動ができたという報告を受けている。また小学校では、北条東・富田・下里・賀茂・日吉・宇仁の6校の5年生が、県立南但馬自然学校に、6月9日から13日まで自然学校に出かけた。雨天のために、若干プログラムを変更したようだが、ほぼ予定通りの活動ができた。また、各学校では、プール開きがあり、プール指導も始まっている。また、中学校では、本日から期末テスト、そして、7月3日・4日には市内中学校総合体育大会が予定されている。子どもたちは、学習にそして運動に積極的に取り組み、とても充実した日々が送れているようである。ただ、この後、総合教育センターの報告にもあるが、一部の生徒が問題行動を繰り返し起こしているという状況が気になりなところである。

次に、新任教員研修会について説明する。市内での新任研修会は、新任1年目、2年目の教員を対象に年間3回実施している。その1回目が昨日九会小学校であった。初任者2名の提案授業もあったが、とてもはつらつとした態度で、きめ細かな指導をしており、子どもたちのいきいきとした授業態度を見て着実な成長が見られた。7月28日に予定している第2回目の研修会は、風土記1300年事業に関連して、市で取り組んでいることを、教員自身が学びそれらを語り継ぐことを目的とした新しい取組である。

続いて、教育講演会について説明する。7月24日（木）に北条ロータリークラブの協力を得て、「発達障害のある児童生徒へのソーシャルスキルトレーニング」と題した講演会を開催する。講師は大阪教育大学名誉教授の竹田契一先生、今年で3回目になる。今回は、加西市の特別支援教育の現状と今後の方向性についても提言をいただく予定である。加西特別支援学校は、加西市の特別支援のセンター校としての機能を持っていろいろな取組を行っている。一般の教員の中にはそれを知らない人も多いため、15分程度、特別支援学校からその取組について説明をしてもらい、その後竹田先生より指導・助言をいただく予定である。

最後に、児童生徒数の推移と年齢別教員数について報告する。児童生徒園児数は、総数では昭和59年の8,317名をピークに年々150名程度減少している。現在は3,756名でピーク時の約45%である。5年後3,000名、10年後2,260名と予想される。教職員数は、養護教諭、栄養教諭を含め現在289名である。現在の状況では、5年後231名(-20%)10年後178名(-48%)と予想される。児童生徒数によっても教職員の定数が変わってくるが、今のままでは10年後には約半分の教職員になる。小中連携教育に加えて小小連携教育の推進を図る必要がある。今後、学校の統廃合の可能性もあるため、それに対応できるようにシステムづくりを考えていく必要がある。子ども達には、社会性の育成や多様な考え方が必要になってくる。若手教職員が増えている中で、教職員の資質向上、若手・中堅教員の育成プログラムが課題である。こういった統計資料をもとに、いろいろな形でできることから進めていきたい。

教育委員より、新任教員研修会について、7月28日の研修会は、参加者を募集するのか、

それとも対象者全員参加なのか、との質問があり、学校教育課長より、採用1・2年目の教職員対象に全員参加であると回答する。

教育委員より、今後、少子化が進み、各学校の教職員が減ってきて小小連携教育を行うということであるが、実際にはどのようなことをするのかとの質問があり、学校教育課長より、各校区の小学生がバスで中学校に移動し、中学校の空き教室を借りて他の小学校の児童と一緒に授業を受けたり、球技大会を行ったりする。そうすることで中学校との連携も図ることができる。また、2校の小学生が合同で1台のバスで社会見学旅行に行く。経費の削減にもなるし、小小連携も図れると回答する。

教育委員より、子どもの数が減ったとき、きめ細やかな指導ができる反面、同じ子ども達の中での活動が増える。複数の学校が連携して学習することは、良いことだと思う。学校を統廃合しなくても、子ども達への教育を補えるような方法を検討してほしいとの要望がある。

(5) 文化スポーツ課長の報告

文化スポーツ課長より、アドベンチャークラブ事業について説明する。当事業は平成26年度ひょうご社会教育活性化支援事業のモデル事業として指定を受け、今後3年間実施する。事業は6月から始まっており、6月15日「段ボールでピザを焼こう」をオークタウン加西を中心に実施した。対象は市内の小学1年生から3年生で、34名の参加があった。現在、市内のボランティアを募り、ピザを焼く石窯を作り始めた。夏のイベント開催に合わせて完成予定である。ボランティアの方々は、オークタウン加西を皮切りに石窯づくりを法華口駅等にも広めたいと考えている。子ども達のアウトドア教室以外の側面を持った多角的事業として、理解いただきたい。

教育委員より、先日行われたワールドカップパブリックビューイングは、子連れの方の参加が多かった。参加している子どもに聞くと「その後フットサル教室に行く」という子が何人かいた。フットサル教室にはどれくらいの参加者があったのかとの質問があり、文化スポーツ課長より、フットサル教室に100名以上参加いただいた。パブリックビューイングの参加者が300名弱であったので、1/3くらいの方が午後からのフットサル教室に参加いただいたことになるかと回答する。

(6) 図書館長の報告

図書館長より、夏休みイベントについて説明する。夏休みのキッズ向けイベントを、5つ計画している。全て参加型のイベントになっている。エコ工作、図書館員体験、図書館探検、科学実験、読書感想文のヒントとなる事業である。図書館としては、小学生向けの読み聞かせの機会が少なくなっている。読み聞かせする中で、読書感想文のヒントとなるものを持つ

て帰ってもらえるように、ボランティアの方の協力を得ながら実施したい。

教育委員より、小学生向けの読み聞かせはあまり聞かない、おもしろい企画だと思う。どのような本を紹介する予定なのかとの質問があり、図書館長より、各学年の教科書の単元で、先生方から読んでもらいたいリクエストの本を集計中である。教科書に載っている内容は先生が授業で読むので、教科書の内容に関連した本を読んでもほしいと依頼されていると回答する。

教育委員より、雑誌スポンサーの状況について教えてほしいとの意見があり、図書館長より、雑誌スポンサーについては、今年の3月から実施しており、6月5日現在で167誌の内30誌までスポンサーが増えた。ある1社は匿名で8誌の子ども雑誌のスポンサーになってくださっている。6月中に数社返事待ちである。35から40誌までスポンサーを増やせたらと思う。現在の数でも全国で多い方だと思う。ただ、雑誌スポンサー獲得に走りまわるのが良いのかどうかは意見の分かれるところではある。企業を訪問すると、「それは市がするのが当たり前だ。」との厳しい意見もある。だが、やるからには企業には図書館への理解を含めて、スポンサーになっていただけるようがんばりたい。そのことにより、新しい雑誌を増やすことができる。自信を持って取り組みたい事業であると説明する。

教育委員より、図書館利用者から何か反響はあるかとの質問があり、図書館長より、特に、女性誌については増やしており、雑誌カバーに企業名を表示するようになっているので、来館された方から女性誌のスポンサーが増えているとの声がある。実際には、女性誌の冊数は2誌しか増えていないので、利用者からインターネット等でリクエストを募る予定であると回答する。

教育委員より、スポンサー企業には1か月100冊貸し出しという利点があるが、利用はあるかとの質問があり、図書館長より、まだ利用はないが、企業を訪問したときに、会社に図書館の本が置いてある空間というのはいいと思うので、もっと広めたいと回答する。

教育委員より、雑誌スポンサー制度について周囲によく話をするが、まだ知らない人も多い。利用者にもスポンサーにもPRが必要ではないかとの意見があり、図書館長より、どのようにPRをしたらよいか、職員の間で検討中であると回答する。

(7) 総合教育センター所長の報告

総合教育センター所長より、市内小中学校の問題行動について説明する。小学校について、問題行動が増えており、低年齢化が進んでいる。窃盗、万引きが増加している。中学校について、不登校は昨年度より減っているが、問題行動が増加している。問題行動のある生徒は、センターや学校と保護者と生徒の三者での教育相談を行う予定である。

教育委員より、生徒指導については、所長も課題解決のため努力されていると思う。教育委員会では、数字だけでなく内容で判断されると思うが（数が減ったからよくなったとい

うのではなく)、加西市で起きている生徒の問題行動の内容は、指導をすれば改善されると思っている。小さい頃からきめ細かく指導し、いくら悪いことをする生徒でも、人間が悪いというようにはならないように指導していただきたい。良いところをほめてあげてほしい。学校と連携をとりながらがんばっていただきたいとの意見がある。

11. 協議事項

なし

12. 教育委員の提案

教育委員より、先日、兵庫県女性教育委員の会総会及び研修会に参加してきた。研修会では、兵庫県教育委員をされている玉岡かおる氏を講師に迎え、女性の特性を生かして良いものを取り入れ、視野を広げることが大切であるとの講演を聴いてきた。午後のグループディスカッションでは、他市町の取組などを中心に、教育委員の活動の在り方や学校現場との関わり方等の意見交換をした。加西市においても、学校訪問の在り方について検討しているので、各市町の状況について聞いてきた。市町の規模により、全員で訪問する、グループに分かれて訪問する、隔年ごとに訪問する等、さまざまな取組をされていた。意見交換のまとめとして、教育委員会制度が見直されている時期だが、教育委員は違った立場で多方面から意見を述べるのが大事だとの意見があったと報告をする。

教育委員より、学校訪問や教育委員会自己評価の方法については、市町の規模によりさまざまであるが、加西市は、充実していると感じたとの意見がある。

13. 今後の予定について

- ・平成 26 年第 7 回定例教育委員会 7 月 29 日 (火) 13:30～ 市役所 5 階大会議室
- ・平成 26 年第 8 回定例教育委員会 8 月 28 日 (木) 13:30～ 市役所 5 階大会議室

14. 付議事項

議案第 30 号 加西市教育委員会委員長の選挙について

15. 議題となった動議を提出した者の氏名

教育委員長より、今回の付議事項については、人事案件であり、自由な発言を確保するため、加西市教育委員会会議規則第16条の規定に基づき、非公開とすることを諮る。

出席委員（4名）の全会一致で非公開の承認を得る。

16. 質問及び討論の内容

議案第30号 加西市教育委員会委員長の選挙について

教育総務課長より、議案第30号加西市教育委員会委員長の選挙について説明し、現教育委員長が6月26日をもって、委員長としての任期満了を迎えるため、後任の教育委員長を選任するものと説明する。

教育委員長より、委員長選出を指名推薦で行い、選出された被指名人を当選人としたい旨を諮ったところ、全員の同意を得る。

続いて、指名推薦により委員長の選任を行い、内藤堯雄氏が適任であるとの指名推薦があり、全員の賛成により承認される。

次に、教育委員長より、教育委員長職務代理者に市場委員を推薦し、全員の同意を得る。

渡邊委員長が、委員長退任にあたり謝辞のあいさつを述べ、内藤新委員長が、委員長就任にあたってのあいさつを述べる。

17. 議決事項

議案第30号 加西市教育委員会委員長の選挙について

内藤堯雄氏が教育委員長

（任期は、平成26年6月27日～平成27年6月26日）

市場かおり氏が教育委員長職務代理者

この会議録は、事務局職員が作成したものであるが、真正であることを認めここに署名する。

平成 26 年 6 月 25 日

出席委員

(出席委員署名)